

豊かな社会づくり

社会の一員としての役割と責任を認識し、健康で心豊かな社会づくりと地域社会・国際社会の発展に貢献します。

お客さまをはじめとするすべての方が、未来の様々なライフイベントを楽しみ、力強く乗り越えて、豊かで明るい人生を送れるよう応援したいと考えています。住友生命は、そうした思いから、「子育て・子育て」「介護・医療」「芸術・文化」「地域社会・国際社会」、さらに「地球環境」を加えた5つのテーマを重点分野として、積極的な取組みを進めています。

子育て・子育て



未来を強くする
子育てプロジェクト

住友生命の表彰事業

■子育て支援活動の表彰

子どもたちの成長を、地域みんなの力で応援するため、住友生命では、子育て支援に取り組む団体や個人を表彰し、その貴重な活動をサポートしています。

また東日本大震災の被災者支援、復興のための子育て支援活動を対象に「震災復興応援特別賞」を設けています。

■スミセイ女性研究者奨励賞

女性研究者の研究と子育ての両立を支援するための助成金制度を設けて支援を行っています。



受賞団体の活動の様子



お子さまといっしょに表彰式に参加



未来を強くする子育てプロジェクトHP ▶ http://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/

子どもたちの居場所を豊かに～財団・NPO等との協働～

住友生命では、子どもたちの健やかな育ちと社会全体での子育てを応援するため、「子どもたちの居場所」にスポットをあて、財団やNPO等とともによりよい環境づくりを目指しています。

| 乳幼児 | 児童 |
|---------|-------------------|
| 保育園・幼稚園 | 小学校・中学校 |
| 子育てひろば | 学童保育・放課後こども教室 児童館 |

保育園・幼稚園支援

■スミセイおはなし広場キャラバン

公益財団法人 住友生命健康財団

スミセイおはなし広場キャラバンは、地域の読み聞かせボランティアが保育園・幼稚園を訪問し、子どもたちと本との出会いや地域のふれあいのお手伝いをしています。平成13年度より各地で実施しており、平成25年度には91施設で実施いたしました。これまでに全都道府県の1,526施設147,490名の園児におはなしをお届けしました。参加した園児には絵本のプレゼントもしています。



子育てひろば支援

■ 全国の子育てひろばの人材育成、コンサル、ネットワークづくり支援

NPO法人 子育てひろば全国連絡協議会

全国約1,000箇所の子育てひろばが会員となっているNPO法人子育てひろば全国連絡協議会の活動を支援しています。



【主な支援事業】

- ・子育てひろばスタッフ養成のための研修
- ・ひろば運営の課題を解決するためのコンサルテーション

■ 子育て・まちづくり支援プロデューサーの養成事業

特定非営利活動法人 あいぽーとステーション

主に定年前後の男性を対象とした「子育て・まちづくり支援プロデューサー養成事業」を支援しています。子育て・まちづくり支援プロデューサーは、企業や社会で長年培われた経験やスキルを活かして、子育て支援の現場や地域を支えています。



学童保育・放課後子ども教室支援



特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

小学生の放課後の生活の場・居場所である全国の「学童保育」や「放課後子ども教室」等にソフト面でのサポートを行うことで、子どもたちへ多様な体験とかけがえのない時間を提供するとともに、子育て世代が安心して働くことのできる環境整備を目指します。具体的には、学童保育等を対象に「スマセイアフタースクールプログラム」(出張授業)の開催や、「放課後をもっと楽しく! BOOK」の配布、遊んで学べるすごろくやペーパークラフト類の提供等を行っています。



スマセイアフタースクールプロジェクトHP ▶ <http://sumiseiafterschool.jp/>

児童館支援

■ 子どものためのNPOとの協働事業(どんどこプロジェクト)

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

全国各地の児童館と多分野のNPOが手をとりあって子どもたちに遊びや体験、創作などの機会を提供する取組みを支援しています。



「自然探検隊」プログラムの様子

【実施例】

- ・児童館×環境分野NPO 「自然探検隊」プログラム
- ・児童館×災害支援分野NPO 「防災マップ作り」プログラム
- ・児童館×医療福祉分野NPO 「障がい者スポーツ体験」プログラム

小学校・中学校支援

■ 弁当の日応援プロジェクト

全国約1,400校の小中学校で実施されている「弁当の日」の推進を図るためのプロジェクトを支援しています。「弁当の日」は子どもが自分でお弁当を作って学校にもっていくという取り組みです。この取組みを通じ、食事の大切さや感謝の気持ち、自己肯定感などを育み、子どもたちに生きる力を身に付けて欲しいと願っています。また、家族愛や絆を深めるきっかけになればと考えています。



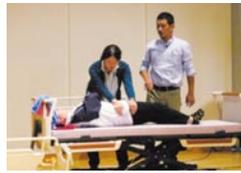
介護・医療

介護・認知症ケアへの取り組み

スミセイさわやか介護セミナー

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

平成3年度より各地の新聞社と提携し、介護保険制度の情報、認知症予防、介護の知識・介助技術など、実習を交えた多彩なメニューを提供しています。平成25年度は全国36都市で開催し、延べ8,300名を超える方々に受講いただきました。



実習の様子

認知症サポーターの養成

平成21年から認知症サポーターの養成に取り組んでいます。所定の研修を通じて、これまでに9,082名(平成26年3月末現在)のサポーターを養成しており金融機関ではトップクラスの実績です。

※認知症サポーターとは、「認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者」で、厚生労働省が始めた取り組みです。



セミナーの様子

医療への取り組み

住友生命総合健診システム(人間ドック)

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

昭和35年に移動診療車による健康診断からスタートした住友生命総合健診システム(人間ドック)は、予防医学の観点から、生活習慣病の早期発見および健康管理を目指し、スタッフ・設備の充実、きめ細かい受診者対応に努め、多くの方に受診いただいています。



地域医療貢献奨励賞

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

医療に恵まれない地域における医療の確保と向上および地域住民の福祉の増進を図るため、地域医療に多大な貢献をされている医師を対象とする「地域医療貢献奨励賞」の顕彰を、平成19年度より自治医科大学の後援を受け、実施しています。

がん患者団体等への支援

がんの早期発見や早期治療、患者さんとその家族の支援に取り組む団体に対して支援を実施しております。

【支援先団体】 ・公益財団法人 日本対がん協会
・特定非営利活動法人 がんサポートコミュニティ

がん啓発冊子の配布

がんについての正しい情報を全国の皆さまにお届けすることを目的に、啓発冊子「知っておきたいがんのこと」を独立行政法人国立がん研究センター監修のもと作成しました。



スミセイシニアライフセミナー

公益財団法人 住友生命健康財団

平成17年度より「認知症予防を考える」をテーマに、認知症研究の世界的権威の長谷川和夫先生の基調講演を軸に、体操、落語を交えながら、研究の最先端の成果を楽しく、分かりやすくお届けしています。



認知症ケアに取り組む団体を支援

認知症ケアに関する啓発・普及活動、家族へのフォロー、指導者育成等の観点から、電話相談、研修、機関紙発行などの活動を行っている団体を支援しています。

【支援先団体】 ・公益社団法人 認知症の人と家族の会
・公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

ピンクリボン運動を応援

乳がんの早期発見・診断・治療の大切さを伝える活動として平成19年度よりピンクリボン運動を応援しています。

全国約3万人の営業職員が胸にピンクリボンバッジをつけて、ピンクリボンのメッセージをお客さまに伝えていくとともに、オリジナルのチラシや冊子をお配りしています。当社イメージキャラクターのピングーもピンク色になりグッズやチラシに登場、一緒にPR活動をしてきています。

また、使用済み切手を回収し、リサイクル業者を通じて換金の上、日本対がん協会「乳がんをなくすほえみ基金」に全額寄付しています。寄付金は乳がん検診機器の整備、患者や治療者のケア、広報活動やがん相談、検診技術者の研修などに役立てられています。

その他、全国で乳がん啓発セミナーを開催し、乳がんの基礎知識や検診などの情報提供を行っています(平成26年3月末時点で147講演実施)。



© 2014 The Pygos Group
営承 P456

「闘わないがん治療:粒子線セミナー」の開催

すべての方々に向けて「超最先端のがん治療・粒子線治療技術(先進医療)」の啓発活動を行っています。

平成20年3月から、兵庫県立粒子線医療センター名誉院長・がん粒子線治療研究センター長 医学博士 菱川良夫先生を講師にむかえセミナーを実施 「闘わないがん治療」DVDしており、これまでに94回開催し19,000名を超えるお客さまにご聴講いただいております。また講演のダイジェストと菱川先生のインタビューを収録したDVDも11万枚以上を配布しております(平成26年6月末現在)。



こども絵画コンクール

未来を担うこどもたちの夢を育み、心豊かな成長をお手伝いしたいという願いのもと昭和52年にスタートした「こども絵画コンクール」は今年で38回目を迎えました。全国各地および海外からご参加いただき、開始からの応募総数が1,036万点を超えるコンクールへと成長しました。

平成12年度からはフランス国立ルーヴル美術館の後援を受け、毎年同美術館にて優秀作品の展示を実施してまいりました。平成26年度も優秀作品を3~4月の1ヶ月間ルーヴル美術館に展示します。

その他、昭和61年度より絵画コンクールを通じて日本ユニセフ協会の活動を応援しており、「お渡した画用紙1枚につき1円、応募作品1点につき10円」を寄付し、絵画コンクールに応募していただくことでこどもたちが社会貢献に参加できるようになっています。



第37回ルーヴル美術館賞
「やっほー!! キャンプ、魚とり」
利光 宏基くん(小2)

クラシック音楽文化への貢献

いずみホール 一般財団法人 住友生命福祉文化財団

住友生命福祉文化財団が運営するいずみホールは、当社が音楽による社会貢献を目的に建設したクラシック音楽専用ホールです。室内楽に最適な821席の規模を備え、その音響の良さは各方面から高く評価されています。毎年恒例の「いずみホール夢コンサート」は、障がいのある方々と、サポートする方々を共に招待し、生のクラシック音楽をお楽しみいただくもので、平成25年で11回目となりました。



いずみホール夢コンサート
(指揮者体験コーナー)

地域社会・国際社会

スミセイ・ヒューマニー活動

「人間味あふれる(ヒューマン)、地域社会と調和を図れる(ハーモニー)企業でありたい。」そんな想いから「ヒューマニー(ヒューマン&ハーモニー)」を合言葉に平成4年にスタートした職員参加型のボランティア活動です。地域社会・国際社会に貢献するために、清掃活動や施設訪問・チャリティバザー、海外のこどもたちに絵本を届ける運動など多岐にわたる活動を展開しています。

毎年多くの支社・本社各部・室が参加しており、22年目となる平成25年度は、257活動、延べ56,586名、全ての所属において取り組みました。



荒川河川敷クリーンアップ

24時間テレビ“愛は地球を救う”協賛

平成18年度より24時間テレビ“愛は地球を救う”に協賛し、全国で募金活動を実施しております。当社独自の取組みとして使用済み切手の回収用ボックスを作成し、当社内のみならず各企業さまにもご協力をいただき、回収活動を実施しております。放送当日にはテレビ局のメイン会場や街頭にブースを設置し、全国各支社・本社および関連会社職員が募金活動を行っています。平成25年は皆さまのご協力のもと13,757,345円(うち使用済み切手回収による換金額494,700円)の募金を集めることができ、福祉・環境・災害援助に役立てられています。



平成25年 大阪設置ブース

全国縦断チャリティコンサート

全国各地にクラシック音楽をお届けしようと昭和61年にスタートした「全国縦断チャリティコンサート」は、平成26年度で29回目を迎えます。毎年国内外の一流アーティストによる演奏を全国のお客さまにお届けし、通算公演回数は996回を数え、これまでに124万名以上の方々にご来場いただきました。1,000回を迎える平成26年度は、「皆さまに感謝の気持ちをこめて『1000回を彩った名曲たち』」をテーマに全国で公演を順次開催しています。会場でご協力いただいているチャリティ募金も累計3億円を超え、各地の福祉事業などへの寄付や、開発途上国での学校校舎の建設、東日本大震災の義援金・支援金として役立てさせていただきました。

<VOICE>



特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム
事務局長
伊藤浩子氏

住友生命様は、職員の皆さまの環境ボランティア活動として荒川クリーンエイドを平成13年より実施されています。また、平成24年からは新入職員研修の中でも取り組まれています。この活動は、環境保全を通じ地域とのつながり、社会貢献の意識醸成といった貴社の目的と私達の思いが合致した取組みです。皆さまのご尽力のおかげで活動域のゴミの量は年々減り、自然回復の成果も得られています。今後も活動を継続していただき、荒川での活動をきっかけに自然とともに生きる社会の実現に貢献されることを期待しております。

スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム

公益財団法人 住友生命健康財団

スポーツを通じた健やかなひと・社会づくりを目的に、平成21年度よりコミュニティスポーツに関する調査・研究及び実践活動への助成を行っています。4年目となる平成25年度は、全国から応募をいただき、34件のプロジェクトが助成対象に選ばれました。



平成25年度助成金贈呈式